北見の奇跡

最北のハス池ものがたり

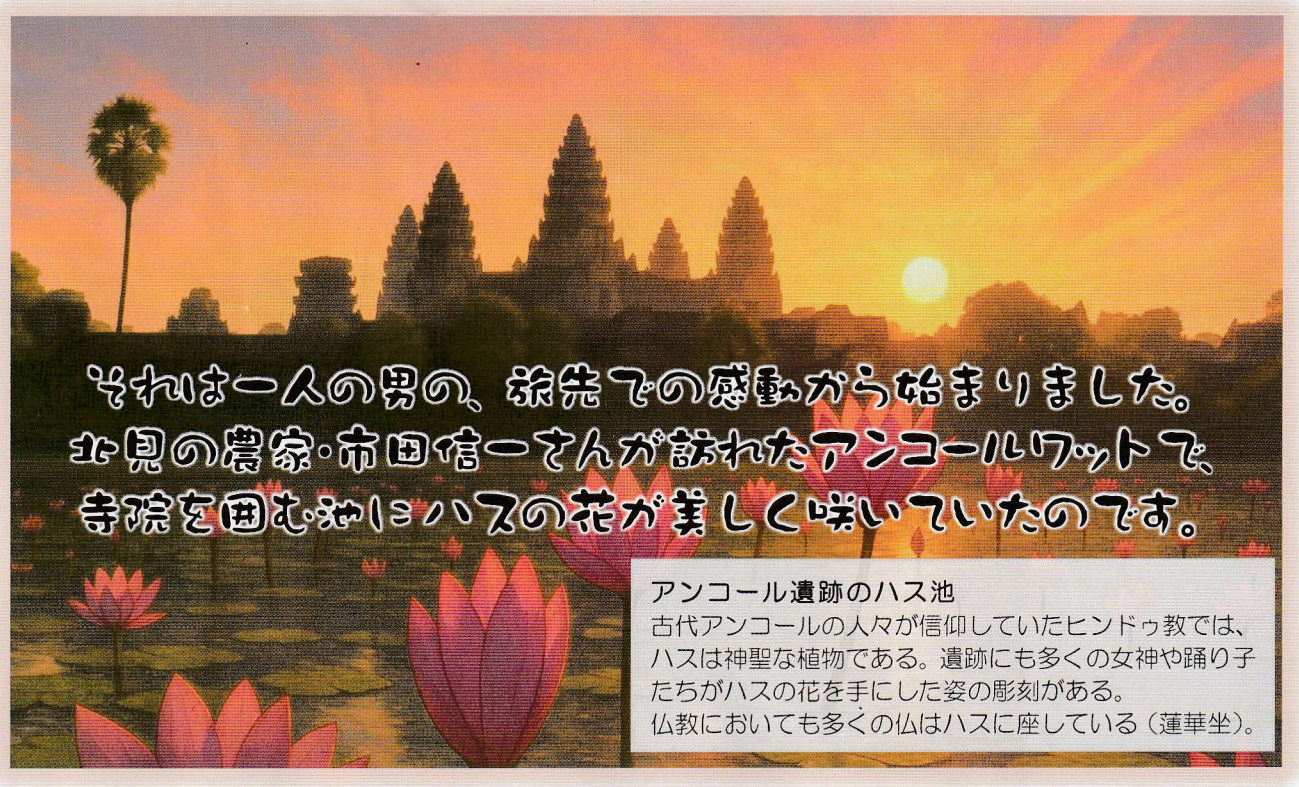
The Story of the Northernmost Lotus Pond

ようこそおいでくださいました。
花々による歓びの歌とともに
日本最北のハス池ができるまでの
話を少し聞いてください。

ボランティア・グループ ハス池・さくら庭園を支える会

for Multilingual Translation

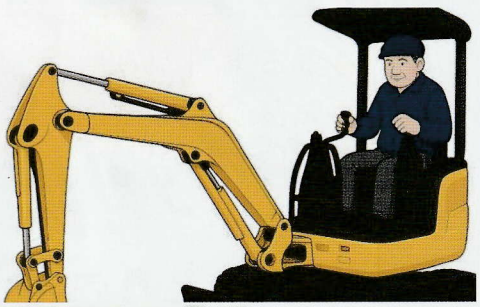
Please use your smartphone's translation app to view this page in your preferred language.



アンコール遺跡のハス池
古代アンコールの人々が信仰していたヒンドゥ教では、ハスは神聖な植物である。遺跡にも多くの女神や踊り子たちがハスの花を手にした姿の彫刻がある。
仏教においても多くの仏はハスに座している（蓮華坐）。

フランス植民地時代を経て、悲惨なカンボジア内戦の傷あとを刻んだまま千年の歳月を静かに立ち続ける寺院。この国を癒そうとするように咲くハスの花の清楚な美しさに市田さんは心を奪われます。故郷・北見でも再現できるのではないかと、すぐに研究に取り掛かります。

だれも想像すらしなかった北海道のハス栽培は困難を極めます。試行錯誤の連続でまたたくまに10年が過ぎますが、市田さんはあきらめません。北見の冬を越して開花することを確かめて清水の湧く土地を購入、ひとりでハス池づくりを始めたのでした。



南国のハス
インドが原産のハス（すいれん；水蓮）は世界中の熱帯から温帯にかけて分布しているが、寒さに弱い。厳寒の北海道の池でハスを育てるなど不可能で、無謀な挑戦だと思われた。

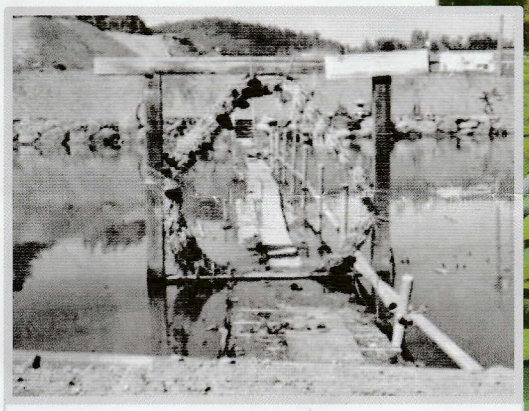
水面に景色を映す「鏡池かがみいけ」と名付けたハス池。短い夏のあいだに咲く花の美しさが、地元で少しずつ話題になっていきました。

数千年の眠りから覚め、「奇跡のハス」と呼ばれる幸運の大賀ハスに出逢われたでしょうか。

世界に知られる縄文時代の美しさ。今では青森から沖縄まで全国で育てられていますが、2017年に千葉市役所から分けていただいた大賀ハスが、この鏡池でも美しく咲いてくれました。

縄文のハス

大賀蓮（1951年発見）
千葉市で縄文遺跡を発掘調査していた最終日の前日、地中６ｍで３粒のハスの実をボランティア参加していた女子中学生が見つけた。植物学者の大賀一郎博士が自宅で育てたところ１粒が発芽、翌年に花を咲かせた。



浮き桟橋（2018年当時）
当初は材木を渡した不安定な浮き橋だったが、多くのボランティアや北見市からの支援のおかげで車椅子の方も渡ることができる橋に整備された。

毎年８月に「ハスまつり」を開いています。さまざまな出店とステージでのイベント、ハスの葉を杯さかづきに見立てて茎から飲みものを楽しむ「象鼻杯ぞうびはい」やお茶会など、短い北の夏をハスの花とともにご一緒に楽しみましょう。

最北のハス池カレンダー

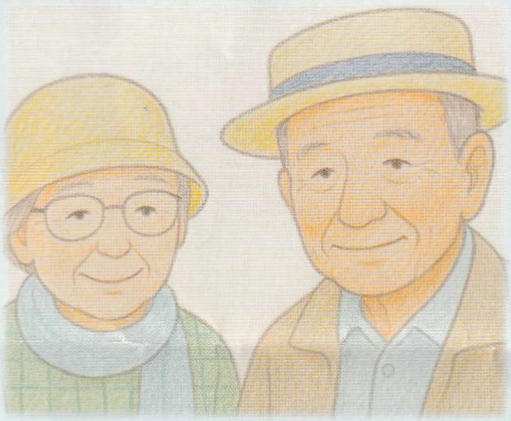
6月 ハス池の準備開始、公園内の清掃
7月 ハス開花！
8月「ハスまつり」
9月 ハス池閉園～後始末など

その年の気候によって変わることがあります

最新情報はこちらをフォローしてください。
［日本最北端のハス池 鏡池］

2024年夏にＨＢＣニュース／北海道放送にてご紹介いただきました

市田さんが好きで、その生きざまが表れている詩をご紹介します—



あした死んでもいいように
百まで生きてもいいように
考え考え生きていこ
食べたいものはたべておこ
ゆきたいとこには行っておこ
会いたい人には会っておこ
足腰立って元気なうちに

詩 「あしたでも 百まででも」風香

市田さんと、いつも笑顔で支えている奥様、遠くから応援する娘さんの姿に地元も動きはじめます。徐々に増えた手伝う仲間によって結成されたのが飯田庄一さん（前会長）を代表とするボランティア・グループ「ハス池・さくら庭園を支える会」です（事務局長 植村之彦）。

北見の皆さん、そして遠くからおいでくださる皆さまに楽しんでいただくことが私たちの喜びです。ありがとうございました。

ご協力に感謝します

ハス池は市田さんと仲間のボランティア活動で維持されています。園内の「善意の小箱」に少しでもご支援いただければ幸いです。

Thank You for Support

The lotus pond is maintained by the Ichida family and their friends for volunteer work.
We would deeply appreciate your support by donating to the "small box of kindness" in this garden.

北海道北見市小泉 896